

まんさく

たへる浴衣まつり

(公財) シップヘルスケア古川教育財団 採択された活動紹介

Events & News

各学科の取り組み紹介

夢に向かって
活動している学生たち

教員の活動紹介
地域福祉学科教授 鄭丞媛

同窓会だより
在学生状況

お知らせ
卒業生進路状況



(公財)シップヘルスケア古川教育財団より

新見市出身で60年以上医療を支える業界に携わってこられた古川國久氏が代表理事を務める(公財)シップヘルスケア古川教育財団は、岡山県内の大学に在籍する保育、看護、介護、福祉のエッセンシャルワーカーを目指す学生を支援し、将来に役立つ専門的な知識と技術を身につける機会を提供することを目的として2023年9月に設立されました。2024年4月から奨学金給付事業のほかに、保育、看護、介護、福祉に取り組む活動、地域やコミュニティの活性化に取り組む活動、学生の研究活動やビジネス活動、ボランティア活動等に対する助成金給付事業(20万円/件)がスタートしました。本学から申請した9件の活動は、全て助成金給付事業に採択されています。

新見市草間地区の特産開発・アグリツーリズムの推進



私たちは岡山県新見市のカルスト台地に位置する草間地区の活性化に向け活動しています。地域運営組織と連携しながら、自然や農業体験を通じたアグリツーリズムを通して草間地域の魅力を発信し、訪れてくれる人を増やすことを目標に日々活動しています。現在、特産品の開発と、周遊ルートの開発・マップの制作を行っています。特産品の開発では、カルスト台地で作られたそば粉や果物を活かしたスイーツの開発をしています。周遊ルート・マップ制作では若い世代を草間地区に呼び込み、草間地区の観光資源を巡ってもらうことを目的に羅生門や満奇洞といった観光資源に加えて、草間地区の自然・食・農業体験を楽しむためのルートを考えています。

Button

今後の主な活動は、①「新見市小規模サロン交流会」では、新見市内のサロンが地区ごとにチームになり運動会や祭りを行う活動を企画、調整中です。

②「高梁市サロン大会」では、地域サロンの代表者を中心に地区で活動するサロンを集め、文化祭やスタンプラリー形式でサロンを回り交流を行う活動を調整中です。本助成金を使用し、新見市の通いの場での活動を中心に、岡山県内の中山間地域における地域住民の通いの場を企画・運営したいと考えています。そして、通いの場の企画・運営を通して各地域の多様な世代と関わり、地域性や住民性、価値観の違いを把握し、エイジズムを払拭することを目指したいと考えています。



tape project-(たぺぶろ)



私たち~tape project~(たぺぶろ)は、3学科の学生視点で子どもたちの体験づくりを中心とした子育て支援の実施を目指しています。現代の日本には、家庭の様々な理由によって学校外の体験活動が乏しい子どもたちが大勢います。そのような子どもたちが楽しい体験が出来るイベントを設けたいと考えました。その第一弾として、日本の伝統文化に触れながら親子の絆を深められるようなイベントを企画しました。テーマは「浴衣を着て新見の夏を楽しもう♪」です。当日は、新見地域の方からご寄付いただいた浴衣を参加した親子に着て頂き、用意したフォトブースでの写真撮影や屋台で遊んで頂くなど、親子の思い出となるイベントになりました。

なるたきフェス



フリーペーパー「なるたき」の創刊から10号を記念したイベントです。フリーペーパー「なるたき」の知名度をさらに上げることを目的としています。大学生目線での新見市の魅力について知ってもらうことで、地域の方に新見市内にある多くの資源を有効活用するきっかけになればと考えています。また、なるたきフェスを通して集まった人の中で新しい繋がりが生まれ、繋がりが深まったりすることで、新見市を盛り上げる為の活動や伝統文化や自然を守る活動などがより活性化することを期待しています。

今後は、まずは具体的な企画内容を決定し、出店・協力をお願いする方々とのやりとりと並行して、イベントの準備を進める予定です。

助成をいただき夢をかなえます！

サテライトキャンパスを活用した地域交流活動の展開



私たちはこの Project を通して、新見駅西サテライトを市民に気軽に利用してもらいたいと思っています。これにより、市民と大学との距離が近くなり、多世代の市民と大学生との交流が活性化され、学生の地域貢献活動を広く市民の皆様を知っていただくことを目指しています。具体的な取り組みとして、イベントを通じてすべての世代の方々にサテライトのことを知ってもらうことや、サテライトを身近に感じてもらうためにサテライトのキャラクター「にゃっぴー」を活用した情報発信を行っています。今後は、市民の交流イベント「クリスマス会」や、芝生やサテライト内の空間を生かした環境づくり、にゃっぴーを活用した市民の日常的な利用を促進する活動を展開する予定です。

土下座まつりを盛り上げる学生主体のダンス活動

私たちは、毎年10月15日に船川八幡宮、新見御殿町を中心に開催される「土下座まつり」でダンスを披露します。昨年度は、有志学生6名が行列の中で披露し、地域の方々から「ダンスで盛り上げてくれてありがとう」という嬉しい声を頂きました。今年度は、昨年の参加学生を中心に、地域の文化や歴史の研究、それらに基づいたダンスの振り付けの考案などの活動をしていきます。325年続く土下座まつりにダンスという形で関わり、地域と大学の連携の強化、地域文化の理解と伝播を目指し、自己の成長にも繋げていきたいと思えます。1・2年生20名の新たなメンバーで、さらにパワーアップしたパフォーマンスを披露できるように頑張ります。



みんなのひろば



保育・看護・福祉の学生からなる「ちびっ子パワー発展プロジェクト（通称ちびデポ）」サークルは、地域のボランティア活動への参加や「みんなのひろば」を企画し、子どもたちの居場所づくりを最終目標としています。

今までの「みんなのひろば」は、年齢が低い子どもたちを対象にした活動内容でしたが、今後は「みんなのひろば」の名のように多世代交流を図ることを目標としています。そのため、新見市内在住の子どもから高齢者の幅広い世代の方や障がいをお持ちの方など様々な住民を対象に「みんなのひろば」を開催し、子どもから高齢者までが共に楽しめる居場所や高齢者の知識と技術を若い世代に伝承する機会、子どもや学生が新見市の文化や歴史などを知り、地域愛が育まれる機会をつくることを目指します。

むすびの会 ～つないで結ぶ地域の輪～多世代居場所づくり

新見公立大学まちづくり学生団体「むすびの会」は年に数回開催する交流会を通して、地域住民同士や地域と大学生が同じ時間を共有することで心をむすぶことを目的に活動しています。子どもから大人まで気軽に参加でき、全員が楽しめるイベントや交流会を開催することで多世代間の交流がさらに盛んになることを目指しています。また、今後は継続的な居場所の構築のため、だれでも気軽に集える「学生カフェ」を地域団体の方々と協働して運営することを目標に活動しています。今後の活動として、12月に今年二回目の交流会を開催する予定です。遊びに来てくださると嬉しいです。これからも「むすびの会」をよろしくお願いたします!!



新見市上市地区の健康づくりを目的として地域交流事業と効果測定調査



新見市上市は、地区住民の生活習慣病の罹患者の割合の高さを背景として、住民の健康づくり活動を必要としていました。そこで、地域福祉学科の副専攻科目の授業の地域活動として地域住民と検討を進める中で、上市地区でのウォーキングマップの作成（2021年度～2022年度）、ウォーキング大会（2022年度～現在）の取り組みを実施してきました。

本事業は上市地区ウォーキング大会及び、ウォーキングマップの取り組みについて、地域住民へのアンケート調査を通じて効果測定を行うことで、今後の大会の参加率やマップの認知度の向上を図ること、また住民自身が健康状態について考え直すきっかけを作ることで健康意識を高めてもらうことを目標としています。

健康保育学科

にこたん学生ボランティアの活動紹介 ～「ほっこりタイム:学生お楽しみ企画」～

7月11日新見駅西サテライトにて、子育て支援活動の一環として健康保育学科4年生3名が遊びを企画し、パネルシアターやふれあい遊びをしたり、子どもと遊びながら保護者の方と会話をしたりしました。8組の親子が参加し、笑顔で楽しんでくださいました。学生は親子の関わりを見る貴重な機会を経験し、保育者になる意欲を高めることができました。



ふれあい遊びの様子です。「バスが右に曲がりますよ〜!」



「かごの中身をバシャーンと出すのは面白いねえ」

地域福祉学科

学生主体の地域福祉学科交流会を開催!

今回の交流会は、「学年を超えた学生同士の繋がりをもちたい」という介護福祉士資格取得を目指す在学生の強い思いから2024年5月28日に学生主体で企画・実施されました。本学科では、1年生の後期から社会福祉士や介護福祉士といった主幹資格の進路選択を始めます。日々の講義や演習を通じて学びを深めていますが、特に1年生は先輩からの話を聴き、自分の思い描く将来像や今後の大学生活がイメージできたようでした。新見の地で自身の目標に着実に近づけるよう多くの経験を積んで欲しいと教員一同願っています。



1年生から4年生まで約50名が参加しました



学年混合でグループを作り和気あいあいとした雰囲気であら交流しました

看護学科

3年次後期から始まる看護学領域実習に向けての 小児看護学実習事前演習の取り組み

看護学科では、2年次から3年次に掛けてライフサイクルに沿った母性看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、地域看護に係る在宅看護論、精神看護学の知識・技術を学びます。3年次後期からは、実践に向けて学んだ知識を引き出せるように整理して、看護学領域実習に臨みます。

そして、小児看護学実習では、到達目標として身体計測、バイタルサインの測定が自立して行えることを掲げています。知識と実践を統合させるために、写真で示すようにシュミレーションモデルを活用し、実践に向けて演習に臨みアセスメントしていく能力を養っています。



1歳児をモデルにした最新の人形を使って練習しています

2024年度：地域福祉の現場実習 コミュニティ・ソーシャルワーク実習

この夏も6月中旬から8月上旬までの約1ヶ月間（210時間）、社会福祉士を目指す3年生が「コミュニティ・ソーシャルワーク実習」に挑みました。本学の特色である地域福祉機関（社会福祉協議会、地域包括支援センターなど）を主とした実習です。学生は実習指導者のもと、地域住民や実習機関利用者の方々と関わるなかで、深い学びを得られたようです。皆さまには感謝しかありません。学生は、この学びを大切に後期の事後指導でさらに深化させていきます。



脳梗塞患者への日常生活援助演習を行いました

看護学科2年生が、脳梗塞患者事例を用いた「車いすへの移乗」と「食事介助」についての演習を行いました。学生は事前に事例の疾患や症状等を自己学修した上で、効果的な援助方法をグループで計画し、患者をイメージしながら演習に臨んでいます。患者役の学生は、片麻痺スーツを着用のもと麻痺を体験し、実際に嚥下障害のある方用の食事や、とろみのあるお茶を試飲することで、患者理解に繋がりました。積極的にグループで意見を出し合い、効果的な方法を模索しながら実践していました。



えきよこにて恒例の「宿題大作戦！」を開催しました

新見駅横の発達支援センターなごみでは長期休暇中に近隣の子どもたちの学習支援（宿題支援）を行っています。この春休みと夏休みも3月に2日間、7・8月に4日間開催をしました。中には毎回参加して下さる子どもたちもいて、学生たちも子どもたちとの再会を嬉しそうにしていました。子どもたちも分からないところは学生ボランティアに尋ねたり、できるところは自分で解いたりしながら、いきいきと学習に取り組んでいるのが印象的でした。



看護学科

訪問看護・地域看護コースの講義紹介

2019年に開設した訪問看護・地域看護コースでは、訪問看護師として必要な知識と技術や多職種連携、退院支援について学修します。さらに「医療モデル」から「生活モデル」へと視点を切り替えて、在宅療養者と家族の健康と生活をアセスメントし、継続的な看護の役割を担うことができる実践力を養うことを目指しています。講義は、看護協会地域包括ケア推進室の室長・江田純子先生にもご担当していただき、より実践を踏まえた内容で行っています。



在宅における感染予防

健康保育学科

保育実習 I (保育所)

7月上旬に健康保育学科2年生が10日間の保育実習 I (保育所) を行いました。この実習では、保育所等の役割や機能を具体的に理解する他、子どもの理解、保護者への子育て支援等を総合的に学びます。実際の保育業務や子どもとの関わりを通して、座学では補えない学びを持ち帰ることができるのは、ひとえに地域の実習園のご協力のおかげです。心より感謝いたします。

今回の実習は初めての本格的な学外実習ということで、学生たちは緊張した面持ちで実習を始めましたが、子どもたちの明るく元気な姿や先生方的確な指導のおかげで保育者への一歩を踏み出すことができました。



昼食の配膳の様子

地域福祉学科

社会調査の実習として新見市内でインタビュー調査をしました

2024年7月19日と7月25日、「社会調査実習」(4年生選択科目)の授業の一環として、新見市御殿町にある太池邸で、地域のガイドボランティアをされている方にインタビューをしました。

社会調査実習は(一社)社会調査協会が認定する資格である「社会調査士」を取得するために必要な科目で、社会調査の企画、実査、分析等を通じて社会調査に関する実践的な力をつけることを目的としています。当日は学生が複数のグループに分かれて、ボランティアの活動内容、御殿町の魅力・課題等についてお話を伺いました。卒業後は調査力のある実践家として多方面で活躍してくれることを期待しています。



太池邸



インタビューの様子

助産学専攻科

お産の技術を身につけるため、分娩介助演習を繰り返し行っています!

助産学生は実習に出る前の段階で、医療機関や助産所の医師や助産師より臨場感あふれる講義や演習を受け、助産師としてのやりがいや責任感、何より妊産婦とその家族に寄り添う大切さを学びます。助産実践能力のうち、助産師の独占業務である「助産」に該当する分娩期のケア能力に直結する助産学実習では「実習中分べんの取り扱いについては、助産師又は医師の監督の下に学生1人につき10回程度行わせること」が要件とされています。産婦とその家族の安心につながる助産師の役割である分娩介助技術の習得を目指して日々奮闘中です。



分娩介助の技術演習



新見で沖縄の「琉球舞踊」を披露しました

渡名喜 咲 (地域福祉学科 2年)

私が琉球舞踊を習い始めたのは、小学校1年生の頃です。琉球舞踊とは、沖縄県独自の芸能文化の1つで日本の重要無形文化財に指定されています。母が琉舞や音楽を好きであることがきっかけで習い始めました。先生や先輩方からの指導を通じて、舞踊の技術だけでなく、礼儀作法など人生に必要な基礎を身に付けることができましたと感じています。道場には、赤ちゃんから高齢者の方と幅広い世代の生徒が通っており、毎回刺激を受けています。TVや舞台出演、コンクール等での出会いを通じ私は将来、対人援助職を目指したいと思うようになりました。

新見市では、今年の3月に城山公園で行われた「第一回新見・桜民謡フェスティバル」で琉球舞踊を披露し、沖縄文化を楽しんでいただきました。人前で踊ることはとても緊張しましたが、参加者の方からたくさんの暖かい拍手や嬉しい言葉をいただき、これまで12年間稽古を続けて頑張ってきた良かったと思いました。現在は新見で勉学に励んでおり、道場に通うことは出来ませんが、帰省時には必ず訪れ沖縄の風を、感じています。



夢に向かって

オーストラリアでの海外研修に参加して

合志 花蓮 (看護学科 2年)

私は2023年の9月11日から9月20日の10日間、全国の看護学生を対象にしたオーストラリアクィーンズランド州ゴールドコースト学生研修に参加しました。

本学からは1人での参加だったため不安な気持ちがありました。そこで、山内先生から本学の幼児教育学科の卒業生で、現在ワーキングホリデーでクィーンズランドに滞在している大久保由衣さんを紹介していただきました。渡航前に生活場の注意点などについてアドバイスをいただき、実際に現地でお会いすることができました。

現地では総合病院や看護大学ナーシングラボ、シミュレーションセンターなどを視察したり、現地の看護大学生との交流、日本人看護師のセミナーなどに参加し、オーストラリアと日本の看護の違いや、海外で看護師として働くにはどうすればよいかを学ぶことができました。

滞在中には、年齢や住んでいる県も異なりますが看護師を共に目指す友人ができ、帰国後も連絡を取り合っています。

今回の研修を通して、勇気を持って新しいことにチャレンジすることの大切さを学びました。ホストファミリーや他大学の学生を含め、この研修でお世話になった方々に感謝し、自分にできることがあれば恩返ししていきたいです。



合志さん(写真中央)

私の研究歴

～人々とのつながりで広がる研究の可能性～



地域福祉学科 鄭 丞媛 (ジョン スンウォン)

私は日本と韓国の国の研究機関で研究業務に従事した後、2019年に新見公立大学に着任しました。現在は、新見公立大学以外にも、国立長寿医療研究センター、日本福祉大学健康社会研究センター、日本老年学的評価研究機構にも所属し、日々、多くの方々と協働しながら研究活動に取り組んでいます。

私の研究の出発点は、「韓国の病院経営に関する研究」でした。このテーマについて日本にもフィールドを広げることになり、日本の「保健・医療・福祉複合体の経営効果の研究」に取り組みました。その後は研究の幅を少しずつ広げていき、約30病院のリハビリテーション患者データバンクの開発に関する研究や、大規模な医療データを使って様々な検証を行った「リハビリテーション医療の質の評価の研究」、医療政策の評価に関する「Pay for Performance(質に基づく支払)の研究」、地域包括ケアシステムの柱の一つである「在宅医療の質の評価の研究」、警察や自治体と共同で実施した「認知症高齢者の徘徊に関する研究」などを進めてきました。

新見公立大学着任後は、主に、WHOが提唱している「Age Friendly Cities(高齢者にやさしいまち)の研究」や、「介護予防政策の評価研究」、民間資金を使って社会課題の解決を目指す「Social Impact Bond(SIB)の研究」など、主に政策評価研究について、研究者や自治体の方々と共に実施しております。

このうち、「リハビリテーション医療の質の評価の研究」と、「Age Friendly Cities(高齢者にやさしいまち)の研究」について、簡単に紹介します。

まずは、「リハビリテーション医療の質の評価の研究」についてです。厚生労働省は2008年に医療の効率性を高めるため、回復期リハビリテーション病棟を対象に「医療の質に基づく支払:Pay for Performance(P4P)」を導入しました。しかし、アウトカム(医療を受けた結果)を評価する指標の妥

当性の検証は十分に行われておらず、課題とされてきました。そこで本研究では、文献レビューやデータの検証を通して、P4P指標の妥当性と信頼性を検証し、その成果を発表しました。

次に、「Age Friendly Cities(高齢者にやさしいまち)の研究」についてです。WHOは高齢者にやさしいまち(city)の評価ツールとして、Age Friendly Cities(AFC)を提唱しました。しかし、日本では地域の社会環境が健康に与える影響について、地域間の差など地域レベルで検証した研究は十分に行われておりませんでした。そこで、私たちの研究グループでは、AFCの概念を構成する8つ(①野外空間・建築物、②交通、③住宅、④尊敬・社会的包摂、⑤市民参加・雇用、⑥社会参加、⑦地域・保健サービス、⑧コミュニケーション・情報)の領域が高齢者の健康にどのような影響を与えているかを検証してきました。例えば、AFCを構成する一つの領域である「社会参加しやすい環境」が「高齢者の健康」につながっていることを高齢者3万人のデータから示しました。現在はこのAFCの研究をさらに発展させ、これまでの研究で明らかになってきた知見を政策に反映(実装)させ、その政策評価の研究を複数の自治体と共同で実施しております。

この間、幸いなことに、各研究領域を代表する研究者たちとの出会いに恵まれ、刺激的な研究機会に多く触れることができました。そもそも、縁もゆかりもない岡山(新見公立大学)に異動するきっかけになったのは、家族(兼、長年の共同研究者)が岡山にいたことでした。岡山に来てからも新しい出会いが多々あり、特に岡山県内の自治体の方々とともに広いつながりを持つことができ、複数の共同研究を「家族総出」で実施させていただいております。

最後に、これまでに大変お世話になった先生方や研究を通してつながりを持ったみなさまに感謝申し上げます。今後も新たなつながりを築き、さらに研究を進めていきたいと考えております。

同窓会だより

Familia

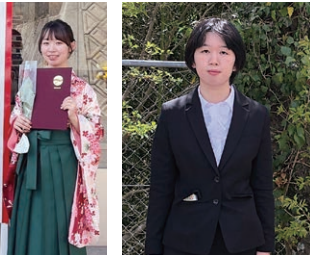
おやこ・きょうだいの入学を紹介します

坂田 菜理(姉)・坂田 愛莉(妹) 姉妹で入学

私の姉は、今年の3月に新見公立大学健康保育学科を卒業し、現在は新見市内の保育所で、保育士として働いています。20年以上この地で生活してきた、思い入れのある特別な場所となった新見市に恩返しをしたいという思いが今の仕事を選んだそうです。子ども達との関係を大事にしながら、保育士の仕事を頑張っています。

そして私は現在、新見公立大学地域福祉学科で勉学に励んでいます。私自身将来のことはまだ具体的には決めていませんが、姉と同じように新見市に恩返しができるような仕事に就きたいと考えています。そのためにも勉強や実習を頑張り、社会福祉士や介護福祉士の資格を取得したいです。

法人新見公立大学
学位記授与式々々場



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院所属
長本 菜の (大学看護学科10期生/助産学専攻科9期生)

私は今、地元の倉敷で病院の助産師として勤務しています。私の勤務する病院は総合周産期母子医療センターに指定されており、母体救命や重症ハイリスク妊産褥婦の受け入れもあります。専攻科での1年で習得した基礎知識をもとに、様々な合併症やハイリスクについて幅広い知識と技術を勉強する日々を過ごしています。わからないことやできないこともまだまだたくさんありますが、先輩や同期に助けられながら頑張っています。



児童養護施設 こぶしヶ丘学園
成瀬 一紘 (地域福祉学科2期生)

私は広島県福山市の児童養護施設こぶしヶ丘学園で児童指導員として働いております。保護者のいない子どもや適切な養育を受けられない子どもの支援を行い、生活の場で養育しています。在学中に取得した社会福祉士と保育士の資格を活かし、2~5歳の子どもが生活している幼児棟で日々楽しみながら学んでいます。当施設は地域との関わりも深く、クルージングやボーリングの招待、地域の方との交流会など様々な行事があり、子ども達は日々楽しい経験をさせていただいています。これからも子どもたちと共に成長し、自己研磨に励みたいです。



健康保育学科

関東	茨城県	2
	埼玉県	1
中部	新潟県	1
	石川県	3
	福井県	4
	長野県	1
	岐阜県	2
	静岡県	1
	愛知県	5
近畿	三重県	3
	大阪府	2
	兵庫県	20
	和歌山県	1
中国	鳥取県	15
	島根県	12
	岡山県	54
	広島県	10
	山口県	5
四国	徳島県	12
	香川県	5
	愛媛県	27
	高知県	2
九州	福岡県	1
	佐賀県	1
	長崎県	9
	熊本県	2
	大分県	4
	宮崎県	5
	鹿児島県	1
	沖縄県	2
	総計	213
うち男子学生	20	

看護学科

北海道	北海道	4
東北	山形県	1
関東	千葉県	1
中部	富山県	2
	福井県	2
	長野県	1
	岐阜県	1
	静岡県	3
	愛知県	2
近畿	三重県	1
	滋賀県	1
	京都府	3
	大阪府	3
	兵庫県	50
中国	和歌山県	3
	鳥取県	20
	島根県	22
	岡山県	80
四国	広島県	44
	山口県	13
	徳島県	19
	香川県	10
	愛媛県	21
九州	高知県	4
	福岡県	5
	佐賀県	2
	長崎県	6
	熊本県	3
	大分県	5
	宮崎県	3
	鹿児島県	3
	沖縄県	3
総計	341	
うち男子学生	13	

地域福祉学科

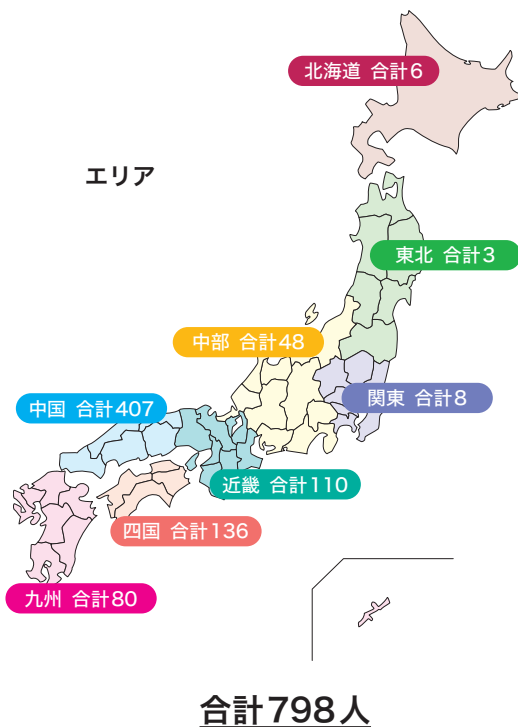
北海道	北海道	2
東北	宮城県	1
	福島県	1
関東	茨城県	2
	群馬県	2
中部	新潟県	1
	富山県	2
	石川県	1
	福井県	3
	山梨県	1
	長野県	2
近畿	岐阜県	2
	静岡県	3
	愛知県	5
	三重県	1
	滋賀県	1
中国	京都府	2
	大阪府	3
	兵庫県	12
	和歌山県	2
四国	鳥取県	10
	島根県	8
	岡山県	62
	広島県	26
	山口県	2
九州	徳島県	9
	香川県	5
	愛媛県	21
	高知県	1
	福岡県	5
九州	長崎県	1
	熊本県	1
	大分県	4
	宮崎県	4
	鹿児島県	8
	沖縄県	2
総計	218	
うち男子学生	59	

助産学専攻科

中国	岡山県	6
総計		6

大学院

近畿	兵庫県	2
中国	岡山県	18
総計		20
うち男子学生		6



人事異動

ごくろうさま

【退職】

看護学科	講師	吉田 美穂
看護学科	助教	西川由貴子
看護学科	助教	小林 匡美
看護学科	助教	西森 千恵
健康保育学科	准教授	広瀬 綾子
地域福祉学科	准教授	小松尾京子
事務局長		田枝 修己
教務課	主事	八石 麻美

【転出】

教務課	次長課長	吉田 征弘
総務課	課長	難波 俊介
総務課	主事	三輪 亮太
教務課	主査	嶋田 秀樹

どうぞよろしく

【新採用】

事務局長		鹿島 隆
学部長		久保 俊英
看護学科	准教授	赤澤真旗子
看護学科	助手	藤井杏安子
全世代型地域包括ケア研究センター		

教務課	講師	飯田 尚美
総務課	主査	谷高 徹
総務課	主任	武井 裕史
総務課	主事	大谷 貴子
教務課	主事	木村 文哉

【転入】

学生課	課長	武田 義和
教務課	課長	上山 克枝

【昇任】

看護学科	准教授	真壁 五月
看護学科	講師	宮武 一江
看護学科	講師	井上 弘子
総務課	次長課長	吉川 国夫
保健管理センター	参事	河田 恵子
学生課	主任	柴田 知瑞

新任教員からご挨拶



赤澤 真旗子 先生

看護学科 准教授

養護教諭養成課程の教員として着任いたしました。学生と共に、児童生徒の健康課題や養護教諭の専門性について学びを深めたいと考えています。どうぞ宜しくお願いいたします。



藤井 杏安子 先生

看護学科 助手

4月から基礎看護学の助手として着任いたしました。4年間の学びのスタートとなる基礎看護学で、看護の楽しさを学生に伝えていければと思います。宜しくお願いいたします。



飯田 尚美 先生

全世代型地域包括ケア研究センター 講師

4月より着任し、摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程（B課程）の開設準備に携わっています。自律した看護専門職として広く社会に貢献できる人材育成を目指します。

公立大学法人新見公立大学と株式会社勝英自動車学校(SDSグループ)との 包括的連携協定が結ばれました。

包括的連携協定書の締結式

日 時：令和6年5月13日 14時00分～14時30分

場 所：新見公立大学 本館2階会議室B

主催者：公立大学法人新見公立大学、株式会社勝英自動車学校（SDSグループ）



本協定により、同じSDSグループの新見自動車教習所が所有する送迎バスを、新見駅から新見公立大学を經由して自動車教習所に向かう運行をしていただけることになりました。

これまで、特に電車で通学している学生は雨の日や、猛暑の日の通学時に、路線バスが満員で乗車出来ないなど駅からの移動に苦慮していましたが、この協定により大幅に通学環境が改善されることになりました。今では毎朝多くの学生が利用しています。

送迎バスは、新見の名産や名所の可愛いイラストと本学ロゴがラッピングされており、自動車教習所が営業している日（年中無休）は毎日往路2便復路1便の計3便を運行してくれています。



NiU鳴滝塾IX シンポジウムを開催しました！

新見公立大学大学院健康科学研究科 定例シンポジウム・新見公立大学NiU鳴滝塾IX

「中山間地域における持続可能な保健医療福祉連携に向けて」をテーマにしたシンポジウムが2024年6月15日(土)13:30～16:00に開催されました。開催趣旨は、中山間地域での地域包括ケアシステムの構築に向けて、これからの保健医療福祉の連携推進のあり方を考えることです。最初に、本学客員教授の野村陽子氏に「これからの保健医療福祉制度・政策のゆくえ」をテーマにご講演頂きました。その後、「中山間地域における持続可能な保健医療福祉連携に向けて」をテーマに、渡辺病院副院長・乳腺外科医の溝尾妙子氏、新見市福祉部健康医療課主幹・統括保健師の谷岡典子氏、元厚生労働省専門官・本学客員准教授の高原伸幸氏の3名にご登壇頂き、本学客員教授の蒲原基道氏の舵取りのもと、医療・保健衛生・福祉や介護の立場から連携を妨げる課題解決やその方策について活発な議論が交わされました。



まんさく

2024年9月号
Vol.67



編集
後記

本誌が皆さまのお手元に届く頃には、酷暑が過ぎ去り、少しずつすがすがしい秋風の吹く季節になっていることと思います。食べ物も一層美味しく感じられる時期になってきました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今回の特集では、シップヘルスケアの助成金に採択された本学の学生の活動を紹介します。前回号では、昨年開設された全世代型地域包括ケア研究センターの紹介や活動を取り上げました。その他にも本学では、地域共生推進センターを中心としたSAや学生団体等の活動、各学科による授業を通じた地域活動やゼミ活動等、新見市のさらなる活性化に向けて少しでも貢献できるよう様々な活動に取り組んでいます。

このように活動ができるのは、日頃から地域の皆さまからのあたたかいご支援やご協力があり、また、全国から個性あふれる学生たちが集結し、アイデアを出し合っ

て知恵をしばり、地域と大学がともに手を取り合い協力して取り組んできた成果であると思います。こうした本学の活動を見聞きした際には、ぜひ、家族や友人、近所の人に情報を伝えたり、興味のある活動には誰かを誘って一緒にご参加いただく等、あたたかい目で応援いただければ幸いです。(岸本)

発行

新見公立大学

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2

TEL.0867-72-0634

FAX.0867-72-1492

URL: <https://www.niimi-u.ac.jp/>



編集

広報委員会

広報部長

三上 ゆみ

広報委員(50音順)

浅原 佳紀 井上 信次 入江 慶太
加藤 由美 岸本由梨枝 柴田 知瑞
高橋 彩 難波 香 宮武 一江
村上 留美 山根 智幸

本学が、共催する全国学会を紹介いたします。ぜひご参加ください。

第35回 日本医学看護学教育学会学術学会

2025年3月8日(土)

岡山国際交流センター(岡山市北区奉還町2丁目2番1号)にて開催。

現代社会はストレス社会とも言われる中で、大人をはじめ若者が抱えるメンタルヘルスの課題の背景には、Z世代の若者の特性や、さらにAIやデジタル教育を受けた世代におけるコミュニケーションの困難さなどが挙げられます。また、近年、多様性の尊重が強調されています。そこで、今回の学術学会のテーマを「メンタルヘルスと多様性」とし、メンタルヘルスの観点から多様性の尊重について考える機会としたいと考えます。

ご参加をお待ちしております。

大会会頭: 金山 時恵



NPO法人 口から食べる幸せを守る会 第13回全国大会

2025年7月4日(金)・5日(土)

NPO法人 口から食べる幸せを守る会



三木記念ホール(岡山市北区駅元町19-2)にて岡山大会開催。

共催: 新見公立大学全世代型地域包括ケア研究センターウエルネスライフ部門

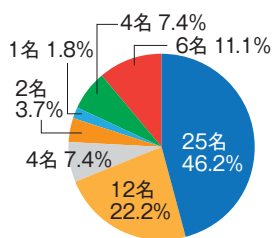
NiU(新見公立大学)-KTSMプロジェクト

大会長: 小山珠美、副大会長: 公文裕巳

*来年7月の開催に向けて、実行委員会を立ち上げ、鋭意検討中です!

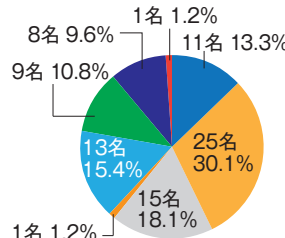
2023年度 卒業生 就職・進学状況

健康保育学科



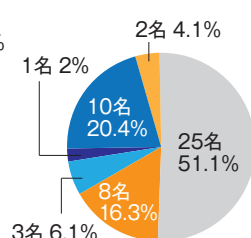
- 公立保育職(幼稚園・保育所・認定こども園)
 - 私立幼稚園・保育所・認定こども園
 - 施設
 - 特別支援学校
 - 国家公務員(法務省)
 - 地方公務員(行政職)
 - その他
- 計 54人

看護学科



- 大学病院
 - 国立・公立・公的病院
 - 民間病院
 - 訪問看護ステーション
 - 保健師(県・市町村)
 - 養護教諭
 - 進学(助産・養護・大学院)
 - その他
- 計 83人

地域福祉学科



- 福祉関係
 - 医療機関
 - 一般企業
 - 進学
 - 公務員(県福祉職、市町村一般職・福祉職)
 - 社会福祉協議会
- 計 49人

100%
就職

おめでとう

新見公立大学
健康科学部 地域福祉学科

第36回 介護福祉士国家試験

合格率(新卒者) 100%

第36回 社会福祉士国家試験

合格率(新卒者) 88.9%

(福祉系大学等新卒合格率76.8%)

新見公立大学
健康科学部 看護学科

第113回 看護師国家試験

合格率(新卒者) 100%

第110回 保健師国家試験

合格率(新卒者) 100%

新見公立大学 助産学専攻科

第107回 助産師国家試験

合格率100%